

質問1～5への回答（{賛成・反対・その他}からの選択）

(奈良県保険医協会・作成/2019.3.19.)

設 問		氏 名 (敬称略)	あらいしょうご 荒井 正吾 (無所属)	かわしま みのる 川島 実 (無所属)	まえかわ 前川 きよしげ (無所属)
【1】奈良県福祉医療制度（子ども、心身障害者、ひとり親家庭等、重度心身障害老人等の医療費助成）の改善等について					
質問 1	子ども医療助成は今夏より就学前児までは現物給付に改善されることが決まり歓迎されています。 就学以降の年齢の子どもや、他の制度対象者も含めて、現在の自動償還を改め、すべて現物給付とすべきと考えますが、いかがですか。	その他	賛成	賛成	
質問 2	特に子どもの医療費の窓口負担の無料化は国の制度として実現されるべきと考えます。そのために奈良県として国にその実現を強く求めていくべきと考えますが、いかがですか。	その他	賛成	賛成	
質問 3	昨年4月実施の診療報酬改定では初診料・再診料への「妊婦加算」が導入されたものの、じゅうぶんな理解が得られず、12月には事実上の凍結となりました。窓口での医療費一部負担が重すぎるのが背景にあります。 奈良県の福祉医療制度には妊産婦を対象とした制度はありませんが、妊産婦の医療費負担の軽減も国の施策としての実現を強く求めていくべきと考えますが、いかがですか。	その他	賛成	賛成	
【2】奈良県国保の制度運営等について					
質問 4	国民健康保険の制度改定の結果、市町村単位であったものが昨年4月より都道府県単位に再編され、奈良県国保が発足しました。奈良県では、統一保険料の実施方針のもと、従前と比べて保険料がかなり高くなる自治体が相次ぐ見通しです。 すでに保険料負担に耐えられず滞納世帯も少なくないなかで、国の責任ある財政的措置を求めるとともに、住民の暮らしを守る立場から、自治体財政からの法定外繰り入れや基金の活用等、保険料抑制の措置を積極的に講じるべきと考えますが、いかがですか。	その他	賛成	賛成	
質問 5	第3期奈良県医療費適正化計画において、計画満了年度の奈良県医療費目標の達成と奈良県国保の保険料抑制をめざして、地域別診療報酬の導入検討が明示されました。 しかし、地域別診療報酬によって診療報酬単価を奈良県のみ引き下げるとは、奈良県の地域医療を担う医療機関の経営を大きく損ない、深刻な悪影響を及ぼし、もって奈良県の地域医療体制そのものを壊し、県民医療を脅かすことが必至です。 同計画に盛り込まれた地域別診療報酬の導入検討は撤回すべきと考えますが、いかがですか。	その他	賛成	賛成	

※氏名50音順で掲載しました。

※アンケートは、2019年3月12日に送付し、3月18日正午を期限として回答をお願いしました。期限後の到着分も掲載しています。

※このほかに自由記述による回答もお願いしました。記述回答は別途掲載します。